



2025年12月15日

各 位

会社名 ミガロホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 中西 聖
(コード番号 5535、東証プライム)
問合せ先 取締役 CFO 岩瀬晃二
(TEL. 03-6302-3627)

2026年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

～売上高・営業利益過去最高へ～

当社は、2025年12月15日の取締役会において、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の通期連結業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。本修正により、当社の実質的前身であるプロパティエージェント株式会社の設立当初から通算し、当社グループにおける売上高・営業利益の過去最高を更新する予想となっております。

記

1. 2026年3月期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|------------------------------|---------------|--------------|--------------|-----------------|--------------|
| 前回発表予想(A) (2025年11月14日公表) | 百万円 60,000 | 百万円 2,900 | 百万円 2,170 | 百万円 1,320 | 円 錢 21.58 |
| 今回修正予想 (B) | 60,000 | 3,000 | 2,250 | 1,370 | 22.40 |
| 増 減 額 (B-A) | — | 100 | 80 | 50 | |
| 増 減 率 (%) | — | 3.4 | 3.7 | 3.8 | |
| (ご参考) 前期実績 (2025年3月期) | 51,709 | 2,713 | 2,121 | 1,390 | 23.79 |

※当社は、2024年7月1日、2025年3月1日及び2025年6月1日を効力発生日として、それぞれ普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の金額を記載しております。

[修正の理由]

当社グループの成長の柱であるDX推進事業は、DX・AI関連人材の拡大とともに、顔認証プラットフォームサービス「FreeID」の事業拡大に加え、企業のDXを支援するデジタルインテグレーション・システム受託開発の収益性拡大、M&Aの着実な実行（2026年3月期は2社グループ入り）などにより、高い成長率を維持して業績を伸長しております。また、当社グループの収益の柱であるDX不動産事業は、昨今の賃料の上昇による不動産価格の上昇や堅調な需要に支えられ、想定よりも強い業績進捗をしている状況にあります。

当連結会計年度は、景気変動や長期金利上昇圧力といったDX不動産事業の不透明な事業環境、今後の成長を担うDX推進事業への先行投資を勘案し、保守的に業績予想を立てておりましたが、足許における業績の進捗が前回想定よりもさらに強く、2025年11月14日発表の通期連結業績予想発表時

点よりも順調に利益が計上されております。特に売上高 50 億円の前倒し達成にチャレンジしている DX 推進事業においては、収益性の向上により、前期に引き続き、事業利益が黒字となる見通しとなつてまいりました。これらのことから、DX 不動産事業における販売戦略や人員戦略、広告戦略等を、また DX 推進事業における投資戦略等を総合的に見直し、2026 年 3 月期の連結業績予想を修正いたしました。

この結果、売上高予想を 60,000 百万円、営業利益予想を 3,000 百万円、経常利益予想を 2,250 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益予想を 1,370 百万円に修正いたしました。なお、当該予想は、当社の実質的前身であるプロパティエージェント株式会社の設立当初から通算し、当社グループにおける売上高及び営業利益の両面で過去最高を更新する予想となっております。

※連結業績予想に関する留意事項

上記の連結業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上